

平成 27 年度 第 1 回 千葉市文化財保護審議会 議事録

- 1 日 時 平成 27 年 12 月 21 日 (月) 午後 2 時～3 時
- 2 場 所 千葉ポートサイドタワー 12 階 第 2 会議室
- 3 出席者 (委員)
- 山田委員 (会長)、明石委員、神谷委員、小関委員
菅根委員、吉村委員
- (事務局)
- 大崎生涯学習部長、志保澤文化財課長、
飛田文化財課特別史跡推進担当課長、芦田文化財課長補佐、
その他事務局職員

※委員改任の年であるため、議事に先立ち、委員の互選により会長に山田委員、副会長に河東委員が選任された。

4 議 題

- (1) 千葉市ゆかりの家・いなげの千葉市地域文化財への登録について (報告)
- (2) 千葉市指定文化財の指定候補について
- (3) その他

5 議事の概要

- (1) 千葉市ゆかりの家・いなげの千葉市地域文化財への登録について (報告)

前回の審議会における答申の際に付された条件を満たし、教育委員会会議第 1 回定例会にて本件を議決する予定であることを報告した。

- (2) 千葉市指定文化財の指定候補について

千葉市指定文化財の指定候補として、市内出土旧石器時代石器資料、原文書、愛新覚羅溥傑の書について説明し、それらについての意見を得た。

6 会議経過

(山田会長) 議事に入る前に、議事録署名人として小関委員を指名する。

【委員承諾】

議事 (1) 千葉市ゆかりの家・いなげの千葉市地域文化財への登録について (報告)

(山田会長) 議事の (1) について事務局より説明を願う。

【事務局が、これまでの経緯を説明。前回の審議会におけ

る答申の際に付された条件を満たしたこと（：面積表の表示・納戸も含めて建物全体を登録すること）を説明し、来年１月に開催予定の教育委員会会議第１回定例会において、千葉市地域文化財への登録を議決する予定であることを報告した。】

（山田会長）ただいまの説明について、何か質問・意見等はあるか。

【意見等なし】

（山田会長）意見・質問がないようなので、事務局はこのまま手続きを進めてほしい。

議事（２）千葉市指定文化財の指定候補について

（山田会長）続いて議事の（２）についてであるが、まずは、市内出土旧石器時代石器資料について、事務局より説明を願う。

【飛田担当課長が資料の実見を交えて説明】

（山田会長）実際に指定する場合も、「市内出土旧石器時代資料」という名称を使う予定か。遺跡名が明記されないと曖昧であるが。

（飛田担当課長）必ずしもこの名称のままというわけではない。遺跡名は冠する予定である。また、旧石器時代の遺物しか出てこない遺跡の場合は、遺跡名だけを冠して名称とする。複合遺跡の場合は、他の時代の遺物と峻別する必要があるため、「〇〇遺跡の旧石器群」という名称を付ける予定である。

（山田会長）員数は、一括という表現にするのか。

（飛田担当課長）できればそのようにしたい。しかし、小さな礫群や焼けた河原石、使用目的のわからないものも出土するため、それらも含めて一括とするかどうかは、資料作成の過程で精査したい。

（山田会長）県の指定となっている旧石器資料と比較して、千葉市の資料はどのような価値をもつと説明できるだろうか。

（飛田担当課長）県指定の２つの遺跡と比較しても、学術的に劣っているということはない。千葉市内の旧石器時代の遺跡では、まだ整理が済んでいないが、約３万５千年前までさかのぼる可能性のある遺物が出土している。特に動物公園の餅ヶ作遺跡では、学術的に大変価値の高いものが出土している。将来的にはこ

れらについても文化財としての指定を検討していく予定である。

（山田会長）実見した遺物の遺跡は、土気地区ということだが、これと似たような遺跡として、県指定の三里塚No.55遺跡や東京湾西側の遺跡等があげられる。関東において、千葉市から出土した旧石器時代資料群が持っている意味を調査してほしい。それが、石器のみを指定するのか、礫群等もふくめて指定するのかに関わってくる。この点を精査すれば、指定物件として十分であると考ええる。

続いて、2つ目の指定候補である原文書について事務局より説明を願う。

【芦田補佐が説明】

（山田会長）ただいまの説明について、何か質問・意見等はあるか。

（菅根委員）古書店から購入したものがあるとのことだが、これらを指定に含めてもよいのだろうか。また、参考文献の「千葉縣史料 中世篇」には50点全てが掲載されているのか。それとも原氏あてに発給されたものだけが掲載されているのか。そして、宛所が切られているという表現があったが、元々無いのではなく、切られているのか。

（芦田補佐）原文書は、県文書館で発行している「千葉縣史料 中世篇 諸家文書 補遺」に50点全てが掲載されおり、簡単な解説もつけられている。宛名については切られている。原文書として卷子に仕立てた時に、都合の悪いところは切ったのではないかと千葉市史等で指摘されている。

（菅根委員）承知した。

（山田会長）卷子仕立ての44点と古書店から購入した6点を一括で指定すべきかどうかは問題である。卷子にされているものは、資料がどのように伝えられてきたかが、ある程度わかるが、古書店から購入した6点については、どのように分離してしまったのかわからない。調査は行われているのか。

（芦田補佐）この6点の来歴はわからない。ただ、明治期に東大の史料編纂所が調査を行って影写本を作成している。そこに記載があるかどうかで原文書か否かを判断している。購入したもの

のうち、3点は原文書であろうと言われている。書店購入分を含めて一括指定できるかどうかは、専門家と相談して決めたい。

（小関委員）この6点は、すべて一括で購入したものなのか。

（芦田補佐）すべて別個に購入した。また、6点のうちの5点は1点ごとに軸装されている。

（小関委員）この文書は一部公開されているとのことだが、公開するものとししないものの判断はどのようにしているのか。

（芦田補佐）郷土博物館において、常設展示と、関連する特別展等で公開している。展示のストーリーの中で必要なものだけを展示している。

（山田会長）原家宛てではなく、富岡家宛てのものが18点含まれているということ、また、出所や宛名が不明なものがあるということだが、これらのものも含めて指定した方がよいのか。今後どのような調査をしていけば適切な形で指定できるのか、意見はあるか。

（菅根委員）すべてが千葉県史料に掲載されているので、「原文書」として一括指定するという考え方もあるが、厳密には「原文書」ではないものまでも「原文書」として指定することになるので、疑問が残る。

（芦田補佐）今回は、全体像が把握できたほうが良いと思い、50点として提示した。今後厳密に原文書と言われているものだけを指定する、という結論に至れば一部を指定する形となる。次回以降で一覧表等を提示する。

（小関委員）古書店から購入した6点について、そのうちの3点は影写本での照合ができているということであるが、そのあたりの情報も提示してほしい。

（芦田補佐）承知した。

（山田委員）他に意見等がないようなので、3点目の指定候補である愛新覚羅溥儀の書について説明を願う。

【事務局職員が説明】

（山田会長）ただいまの説明について、何か質問・意見等はあるか。

（菅根委員）1990年のものであり、指定文化財とするには新しすぎ

るのではないか。千葉市とのつながりがある、その点だけを指定の理由として判断してよいのだろうか。

（事務局職員）愛新覚羅溥傑という歴史上重要な人物が残した遺品であり、市にとって歴史上重要な資料と認められるのではないかと考えたため候補として提案した。

（菅根委員）溥傑が稲毛にいた昭和12年のものであれば、「歴史上」としてもよいのだろうか、1990年の資料を「歴史上」として取り扱うのはいかなものか。

（山田会長）溥傑は、中国の現代三筆に数えられる書家として評価されているとのことだが、この書の美術品としての価値についてはどのように考えているのか。

（事務局職員）溥傑の書は作品数が多く、希少価値という点ではそれほど高いものではない。そのため、今回は美術品としてではなく、歴史資料として提案した。

（明石委員）以前の審議会で、吉村委員が溥傑について説明していた。

（吉村委員）美術品（書跡）としての指定は難しいだろう。ただ、溥傑の仮寓（千葉市ゆかりの家・いなげ）も地域文化財として登録されるということもあり、千葉市とゆかりがある方の遺品ということで、歴史資料としての扱いならばよいのではないかと思う。市で所蔵している溥傑の書はこの1点のみか。

（事務局職員）合計9点を所蔵している。ただし、稲毛に居住していた頃のことを書かれているのはこの1点のみである。

（吉村委員）他のものはどのような内容なのか。

（事務局職員）中国の詩人の詩を書き、そこに添え書きをしたものが多い。

（吉村委員）それはいつ頃のものか。

（事務局職員）1960年以降のものである。

（吉村委員）この作品は1990年に寄贈されたものであるとのことだが、寄贈の際の贈り状のようなものはあるのか。

（事務局職員）千葉市在住の知人を通して市に寄贈されたものであるが、送り状等が残っていない。

（小関委員）この作品の他に溥傑の資料があるならば、やはりその中で評価する必要がある。

（山田会長）この作品を歴史資料として1点のみで指定するのは難しい

のではないかと思います。愛新覺羅溥傑関係資料という形で一括指定するならば審議の余地が残されていると思うので、所蔵する他の8点についても内容を調べてほしい。

(事務局職員) 承知した。

(小関委員) 漢詩において追想している昭和12年当時の溥傑に関する資料・文献はあるのか。

(事務局職員) 把握していないので調査する。

(山田会長) 他に意見等がないようだが、事務局からはなにかあるか。

【志保澤課長が今後の方針等を説明】

(山田会長) これにて議事を終了する。

問い合わせ先 千葉市教育委員会生涯学習部文化財課

T E L 0 4 3 - 2 4 5 - 5 9 6 2

F A X 0 4 3 - 2 4 5 - 5 9 9 3